

## 市内の高校生ら入賞

### 魚住の教室仲間3人 「諦めず練習」

パソコンソフトなどの機能習熟度を試す国内実技大会で、本年度、市内のパソコン教室に通う生徒計3人が入賞を果たした。受験者数4万5千人のうち、入賞者は9部門の計180人に限られる狭き門。厳しい競争の中で結果を残した3人は、「何度も諦めず練習を続けてきてよかった」と喜んでいる。

(小林良多)

3人は、明石北高校3年の林真由さん(17)＝魚住町西岡、高砂南高校2年の山口有希さん(16)＝加古川市平岡町中野、神戸電子専門学校1年の雨宮好宏さん(19)＝魚住町

3人が目標に掲げたのが「マイクロソフトオフィススペシャリスト」(MOS)という資格の取得。実務に役立つため、社員研修に用いる企業もあり、試験は世界各国で実

中学から高校にかけ、

施されている。学生は、試験結果に基づいた順位が発表されている。

3人は1年ほどかけて練習問題に取り組み、昨年10月から今年1月にかけて受験した。試験では文書の書式設定、表や図の編集、データ集計など、設問通りの作業をソフトの機能を駆使して正確に行う力が問われた。

上位に食い込むには、ノミミスで満点を取るの最低条件。その上で、回答を終えるまでの時間の速さが順位を決めるといふ。入賞者は5月に発表され、文章作成ソフト「ワード」の高校部門で、林さんが13位、山口さんは16位。雨宮さんは表計算ソフト「エクセル」の高校部門16位だった。

う林さんは「何度も反復練習して体にたたき込んだ成果」とにっこり。雨宮さんは「将来の仕事でも必ず役に立つスキル。単なる合格だけでなく入賞できたことが自信になる」と話していた。



国内の学生大会で入賞した(左から)林さん、雨宮さん、山口さん＝魚住町西岡